

# 安 全 報 告 書

## 2012 年（平成 24 年）度版

本報告書は、鉄道事業法に基づき当社の安全確保への取組や安全の実態についてまとめた物です。

お読みいただき、皆様からのご意見をいただければ幸いです。

由利高原鉄道株式会社

# 平成24年度由利高原鉄道安全報告書

## 1. 安全確保に向けて経営トップからのメッセージ

弊社の鉄道事業に対し、日頃よりご利用とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

平成24年度は、9年ぶりとなる新型車両YR3001を導入、4月1日から営業運転を開始し、地域住民の皆様にさらなる快適なご利用環境づくりに取り組んでおります。

弊社では、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、私たち経営陣が先頭に立ち、社員全員が一丸となり「安全・安心の提供」がお客さまへの最大のサービスであることを認識し、施設の老朽設備の補修・更新を計画的に進め、安全で快適な輸送の提供に努めてまいります。

そのため社員への基本動作の確実な励行と、業務知識のレベルアップを図り、さらなる安全風土の構築と定着に邁進し、お客さま及び社員の死傷事故と鉄道運転事故のゼロと輸送障害の縮減を目標として取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組や安全の実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまの声を輸送の安全に取り入れるため、是非ご意見をいただければ幸いです。

由利高原鉄道株式会社

代表取締役社長 春田 啓郎

## 2. 安全に関する基本方針

当社は、安全・安心の提供がお客さまへの最大のサービスであるとの認識の下、社員一人ひとりが基本作業へ真摯に取り組む、安全を最優先とする意識を徹底し、輸送の安全の確保に取り組めます。

## 3. 安全目標

安全・安定輸送の確保は、鉄道事業者の最重要課題であり、永遠のテーマであります。安全管理者を中心に「事故は絶対起こさない」を合言葉に、規程を遵守し、死傷事故ゼロ・鉄道運転事故ゼロと輸送障害の削減に努めてまいります。

## 4. 重点実施施策

### ○ 安全・安定輸送の確保

#### ア 社員の育成（ヒヤリハットの抽出の実施）

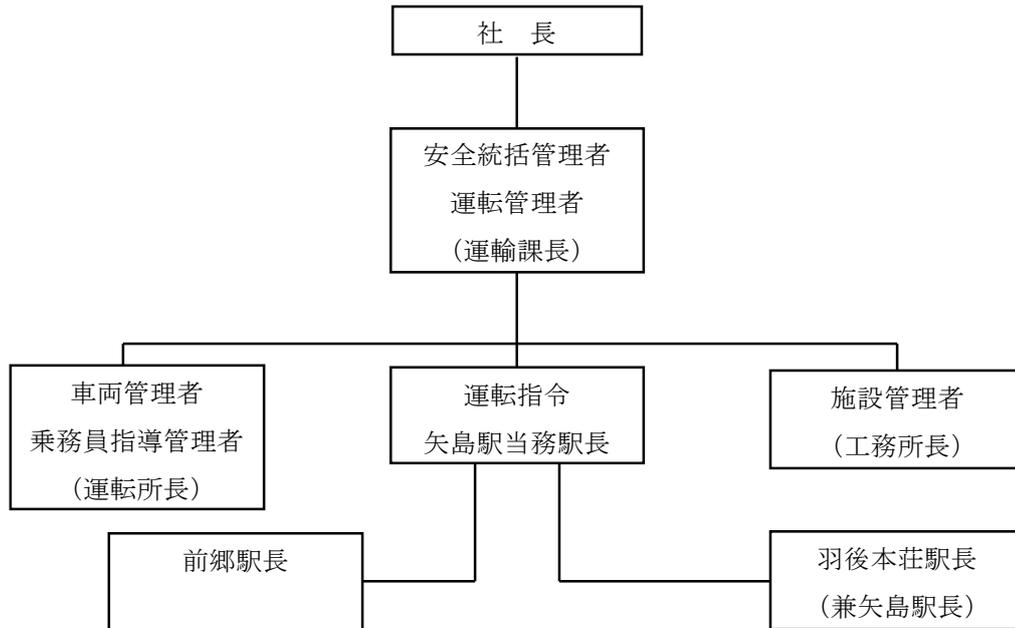
- ・基本動作の再徹底と異常時対応能力向上について。（実地訓練の実施）
- ・検修業務知識のレベルアップ。（知識の再確認）

- ・ 構造物・電気設備の検査洩れ対策（スケジュール管理とチェック体制）。

イ 鉄道施設検査記録の整備と施設の近代化整備

5. 安全管理体制

当社の安全管理規程に基づき組織体制を整え、安全統括管理者をトップに各職場での安全管理に努めてまいります。



- 社 長：輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。  
輸送の安全の確保に必要な要員・設備投資・財務に関する事項を統括する。
- 安全統括管理者：輸送の安全確保に関する業務を統括する。
- 運 転 管 理 者：安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する。
- 乗務員指導管理者：運転統括管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
- 施 設 管 理 者：運転統括管理者の下、施設に関する事項を統括する。
- 車 両 管 理 者：運転統括管理者の下、車両に関する事項を統括する。

6. 平成 24 年度の当社運転事故・輸送障害発生状況その他

- ・ 鉄道運転事故 : 0 件
- ・ インシデント : 0 件
- ・ 輸送障害 : 7 件 ※
- ・ 傷害事故 : 0 件

※（30分以上の遅延及び運休が発生した事象）

- 4月 4日 暴風によるケーブル切断のため終日運休、上下28本（14往復）
- 11月 3日 大雨の水害による運休2本
- 12月 27日 雪害による運休4本
- 1月 15日 雪害による運休2本、遅延4本
- 2月 24日 雪害による運休21本（7往復）
- 3月 4日 動力装置不具合による運休1本
- 3月 21日 風害による運休2本

## 7. 安全対策実施状況

当社では、平成19年に発生した豪雨による落石箇所の復旧後、その付近の危険箇所の落石防止工事を平成21年から5ヶ年計画で継続して実施中のほか、損傷枕木など老朽設備の更新や安全性の向上を図るためのレール交換など、継続して工事を進めております。

また、車両の定期点検も法律に定められたとおり実施しており、日常の始業点検作業を確実に実施することで、お客さまに安心して戴ける設備を提供しております。

設備の更新では、列車無線機が導入より20年が経過し老朽化により部品調達にも苦慮しているため、新規購入いたしました。異常時に使用する保守用車両（レールスクーター）は国鉄から譲渡を受けたもので、現在は稼働できない状態であることから、新規購入し巡回時間の短縮を図り安全を確保いたします。

なお、沿線の皆さまには夜間工事等で、ご迷惑をおかけする場合がございますが、列車の安全運行のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

### ○ 平成24年度の主な安全対策実施状況 (円)

・のり面固定その他工事	32,760,000
・PCマクラ木交換工事	15,000,000
・道床砕石補充工事	1,197,000
・伏び修繕工事	430,000
・軌道整備工事	1,577,920
・車両重要部検査	1,500,000
・列車無線設備	750,000
・保守用車両	900,000
合 計	<b>54,114,920</b>

## 8. お客様に優しい駅・鉄道をめざして

当社では、お客様第一をもつとくに安全で安心してご利用していただけるように、地域住民の皆さまの協力を得ながら、社員一丸となって知恵を出し合い、環境の整備と美化を進めております。

列車アテンダントが乗車する車両もあり、初めていらっしゃるお客様への沿線案内やグッズ販売を行い、親しみやすい雰囲気を醸し出しております。

また、日中時間帯には薬師堂駅～矢島駅間、自転車を無料で持ち込みできる車両を増やし、お客様が少しでも利用しやすい鉄道を目指しております。

## 9. 『お客様の声』について

当社に対するご意見・ご要望等については、引き続き「投書箱」やお客様へのアンケートのほか、本社・有人駅に於いても電話や窓口にて受付をいたしております。また、ホームページやブログでも、お客様のご意見・ご要望等もお受けして、社員全員がお客様のお声を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

## 10. ご連絡先

〒015-0404

秋田県由利本荘市矢島町七日町字羽坂 21-2

由利高原鉄道株式会社

電話 0184-56-2736

FAX 0184-56-2850